

令和2年10月15日発行
No.6



社会福祉法人
御船町社会福祉協議会

地域支え合いセンターだより

御船町社会福祉協議会 地域支え合いセンター
〒861-3204 上益城郡御船町木倉1176-1
TEL : 096-282-2886 FAX : 096-282-2887

テーマ ~人をつなぐ 仲間につなげる 地域とつながる~

単独住宅南木倉団地交流会を6月19日（金）夕方6時から開催しました。今回は新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、受付で検温、マスク着用確認、手指消毒や3密を避けての会場づくりなど安心して参加できるように心がけました。入居者同士の顔合わせや地区住民とのジャンケンゲームなど楽しいひとときを過ごすことができました。団地代表の清水さんは「この交流を今後に生かしたい」と感想を述べられました。（南木倉団地）



体を動かすゲーム



町からの説明



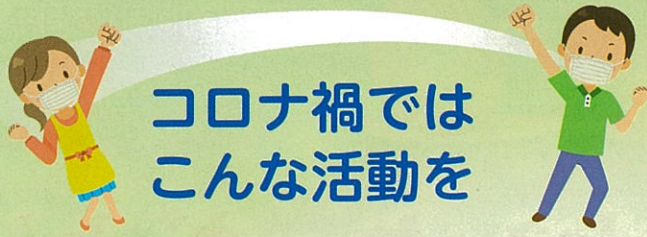
石橋と名所史跡を載せた手作りうちわ



交流会のゲーム

南木倉交流会

単独住宅西木倉団地交流会を7月31日（金）夕方6時から感染対策をとり開催しました。今回も入居者同士の顔合わせや地区役員の皆さんとの交流など総勢25名が参加されました。町から入居後の生活説明があり、木倉の名所と眼鏡橋が載った社協手作りうちわを配りました。交流会では、地元の〇×クイズをして楽しみました。（西木倉団地）



コロナ禍では こんな活動を

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、

- ・毎朝の検温
- ・手指消毒
- ・マスク着用

の徹底を図っています。



職員の飛沫感染対策としての
ビニールを対面、アクリル板を隣接面に設置



公用車も毎日消毒



訪問先ではマスク着用



電話による安否確認

一方では

- ・4月コロナ感染の拡大に伴い緊急事態宣言が発出され、電話による安否確認に切り替わりました。
- ・宣言の解除に伴って現在は通常の訪問による見守り活動に戻っています。



新型コロナウイルス感染予防啓発チラシ



3密を配慮した顔合わせ会の設営状況



再建された方々から



西木倉 本田英久さん

高齢になってから熊本地震で住み慣れた家を失いました。仮設住宅の生活も終わり、ようやく落ち着いた毎日に戻りました。ところが最近ではコロナの感染が脅威です。家に閉じこもってれば安心という事ではないようです。筋肉の衰えを避けるため散歩をしたり、3密を避けて買い物をしたり、できるだけ気分さわやかな毎日を維持しようと思んでいます。

太陽も空も山も、樹も花も鳥も、変わった様子はなく元気です。嬉しいですね。見ていると力が湧いてきます。お陰様で心が温まり、私も頑張ろうという思いがしています。



小坂 平田一幸さん

熊本地震から4年半が経過していますが、今でもあの時の揺れを思い出します。幸いにも私は昨年の10月に町の災害公営住宅に入居させて頂き、1年になりましたが、まだ内心は不安があります。最近では、阿蘇山の噴火による降灰や今年7月の熊本豪雨と何かと災害が続いていて、このような災害が起きない事を願っております。

今後は、入居している他の方々と少しずつでもコミュニケーションをとっていききたいと思っています。また、支え合いセンターの皆様には毎週巡回して頂き、会話も出来て感謝しております。



上高野 黒田順子さん

平成二十八年四月の熊本地震からやがて四年半近くの歳月に。全壊家屋の我が家も今や更地のままです。失意の底から立ち直れたのも故郷である、町営住宅上高野団地に恵まれた御蔭だと、感謝の気持ちでいっぱいです。

これからは団地の皆様、地域の皆様方と心を共にして楽しい日々を送っていききたいです。

繋がりにしこのよろこびからすっぴり



一丁目第1 庄司勇さん

5丁目で被災して落合仮設に入り、今年1月に一丁目第1団地に移りました。被災後1年くらいで運動不足になり、3年前から足の運動を始めました。まず、足首から膝裏にかけてふくらはぎを両手でゆっくりなで上げることを30回、35回やります。次に、仰向けになって足を伸ばして足のかかとがお尻に付くように膝曲げを左右50回やります。最後は、肩甲骨が少し浮くくらい軽く腹筋運動をやります。これは無理ない程度で結構です。出来れば朝晩2回すればよいと思います。今後も続けていきたいと思っています。



陣 松本くみ子さん

震災直後は、同じ敷地での再建は無理と思っていたが、帰って

来ることが出来ました。再建するには、年齢、資金、家族の病気の問題と様々にありました。支え合いセンターの方がアドバイスを下さり、その後住宅金融支援機構の方々、銀行の方々が根気強く対応して下さり、再建することが出来たのです。携わって下さった関係者すべての方々に、家族一同感謝申し上げます。今後被災された方々のお役に立てるよう、努力したいと思います。



辺田 赤星テイ子さん

私たち家族は自宅再建のため、高木校区の仮設住宅で3年間過ごしました。右も左もわからない地ではありませんが、地域の方々のやさしさに触れ、地区や学校行事にも進んで参加させて頂きました。私たち家族にとって「狭いながらも楽しい我が家」で過ごした3年間は一生の宝物となりました。そして、この4月、元の場所に新築し、家族7人で切磋琢磨しながら頑張っています。

最後になりましたが、高木校区の皆様には大変お世話になりました。感謝です。

～最後と再開～



最後

7月8日、単独住宅南木倉団地「みんなの家」が撤去移設のため最後のサロンが開催されました。毎週サロンを楽しみにしていた方々には、少し淋しくなりますが、このサロンで知り合った方を中心に、さらに団地の輪が広がっていくことでしょう。



なごりつきない記念の一枚



参加者一人一人にメッセージをプレゼント

再開

外構工事やコロナ感染拡大防止のため、休止中だった滝川サロンが再開しました。健康維持のための軽い体操や、脳トレ、情報交換など新しい地域コミュニティの場として、皆様の参加をお待ちしています。



滝川団地「みんなの家」
★開催日 毎週水曜14:00～



お知らせ

支え合いセンターは、令和3年3月をもって閉所予定です。



お問い合わせ先：御船町社会福祉協議会
〒861-3204 熊本県上益城郡御船町木倉 1176-1

地域支え合いセンター（小糸整形外科 横駐車場内）
TEL：096-282-2886（平日 8:30～17:00）
FAX：096-282-2887